

**ADULT ONLY**  
**成人向**



**SEASON 2**

**HYHH!**

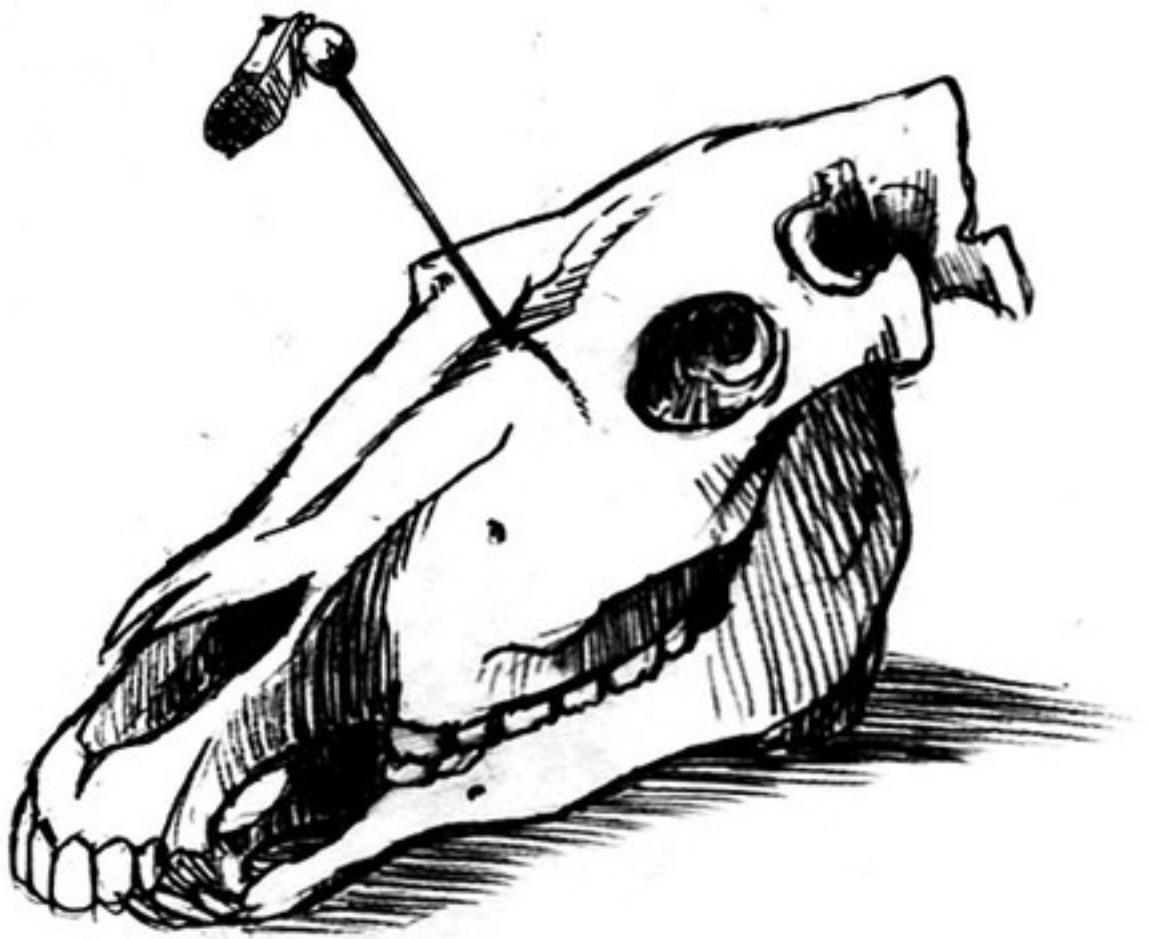
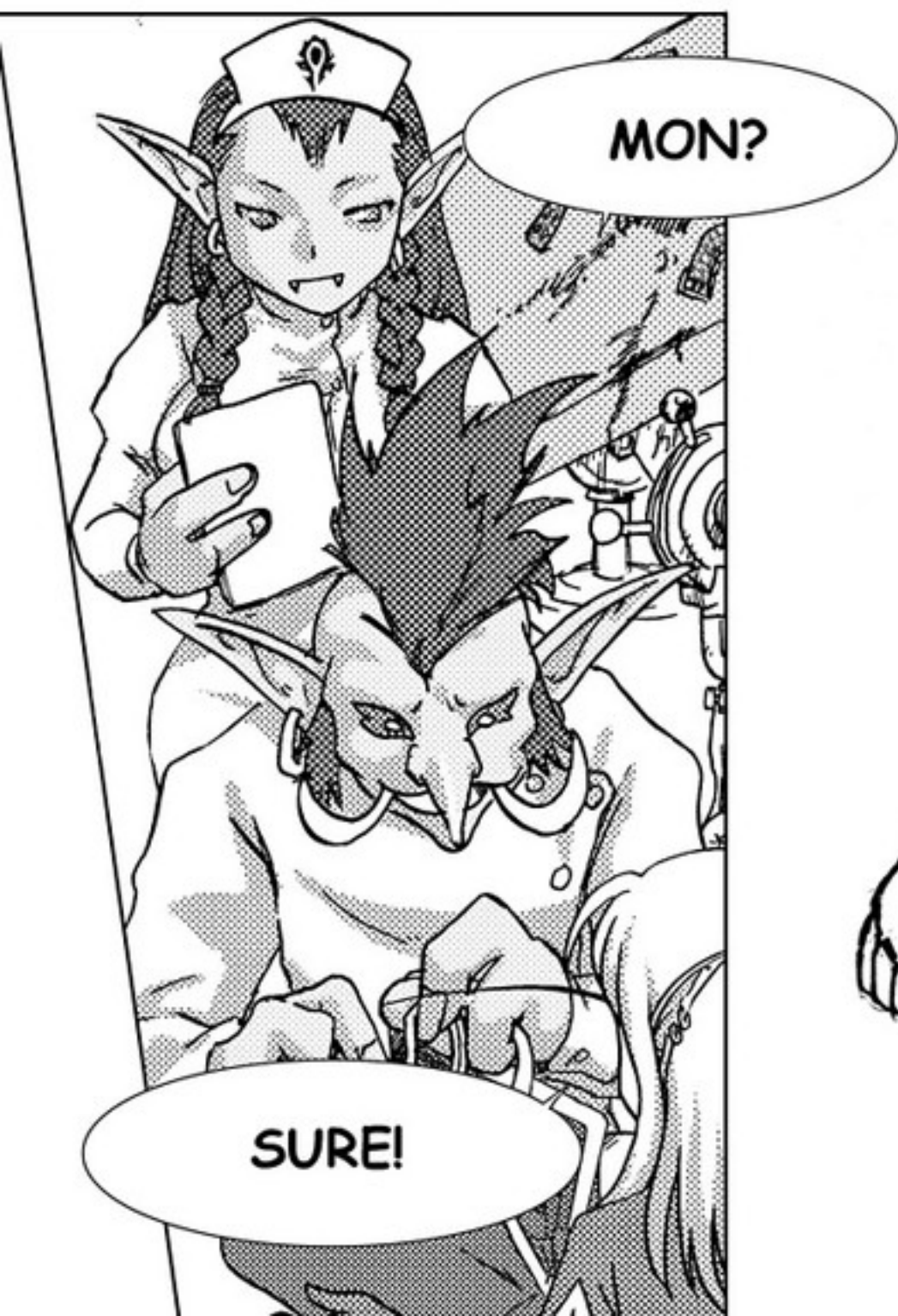






# HYHH! #2

HoldYourHeadHigh!  
~season 2~







こんにちは。  
ごぶさたのぷりんはうすです。  
ようやく新刊が発行できまして  
お待ちいただいていた方も  
そうでない方も  
ご心配をおかけいたしました。  
時間かかった分  
お楽しみいただけたら  
いいのですが！

タイトルの”#2”は  
Season2 (S2)の  
つもりですが  
Tier2 (T2)の方が  
良かったかも…等と  
今更思ってみたり。

遠いかわからない奴です。  
はい。

ともあれ、この本を  
手に取って下さったあなたに  
心からの感謝を。

2010.08.15  
ぷりんはうす  
なかいかな

**GO-  
AISATSU**





まったくこの  
役立たずは！  
気合入れて  
あげるわ！

んんん  
んんん  
んんん



もっと走れって  
言ってるのよ！

誰が止まられて  
言った！

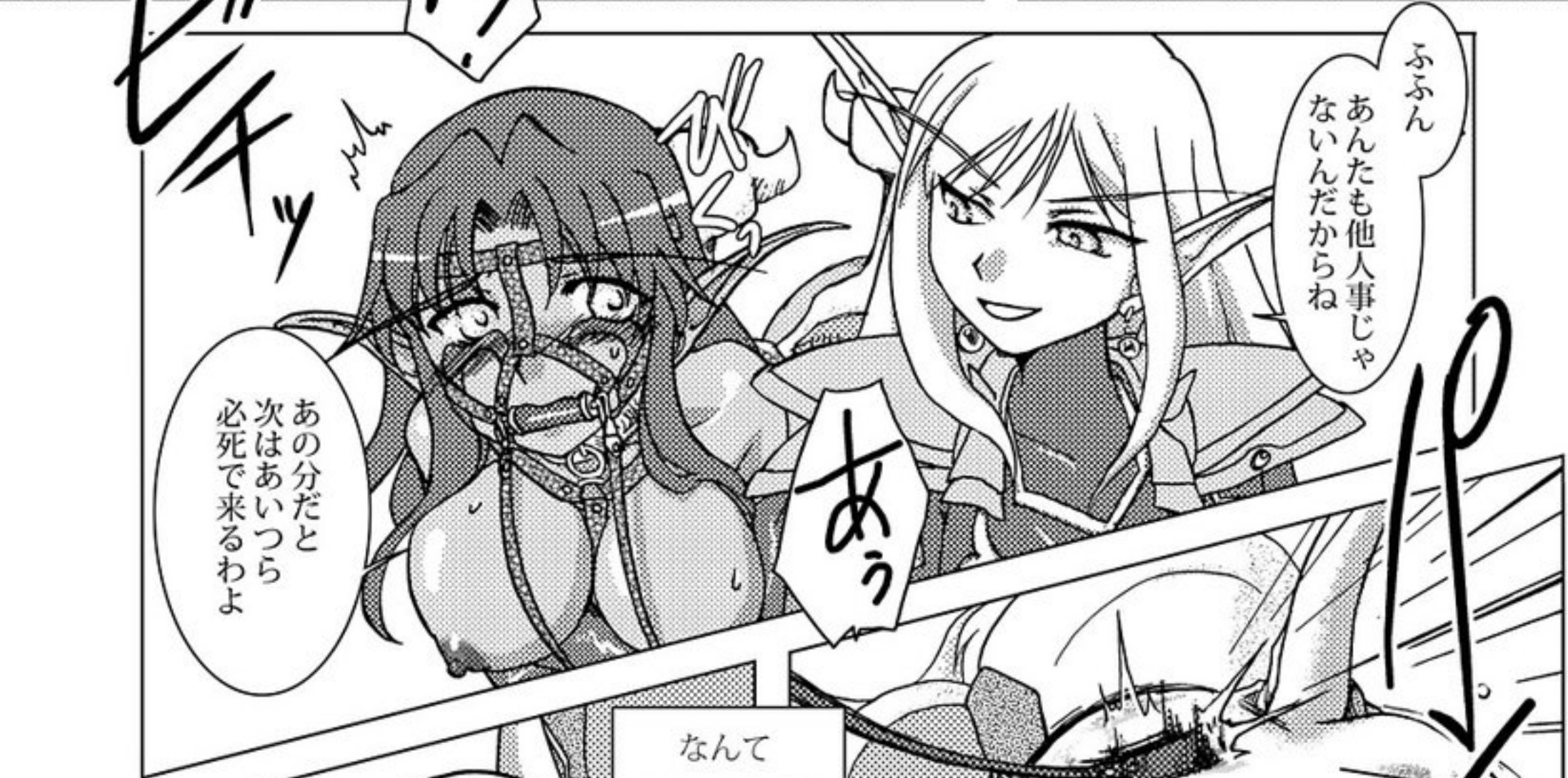
# DEADLOCK



バカ！  
ムチを頂く時の  
カッコまで  
忘れたわけ？

お尻  
出しなさい！







あの腫れあがった  
肌の色…

どう?

でも

身体が  
ざわめく

あーあ

あの  
搾り出すような  
悲鳴……

少しは  
身に染みたんじゃ  
ない?

ずいぶんとまあ  
腫らしちゃって

こんなに  
怖いのに

あれは

YAWN

——私の姿



ご主人様に調教される  
私の姿……

思い出だけで  
鳥肌が立つ——でも  
何かが違う

嫌じゃない  
感じがするのは何故？

むしろ

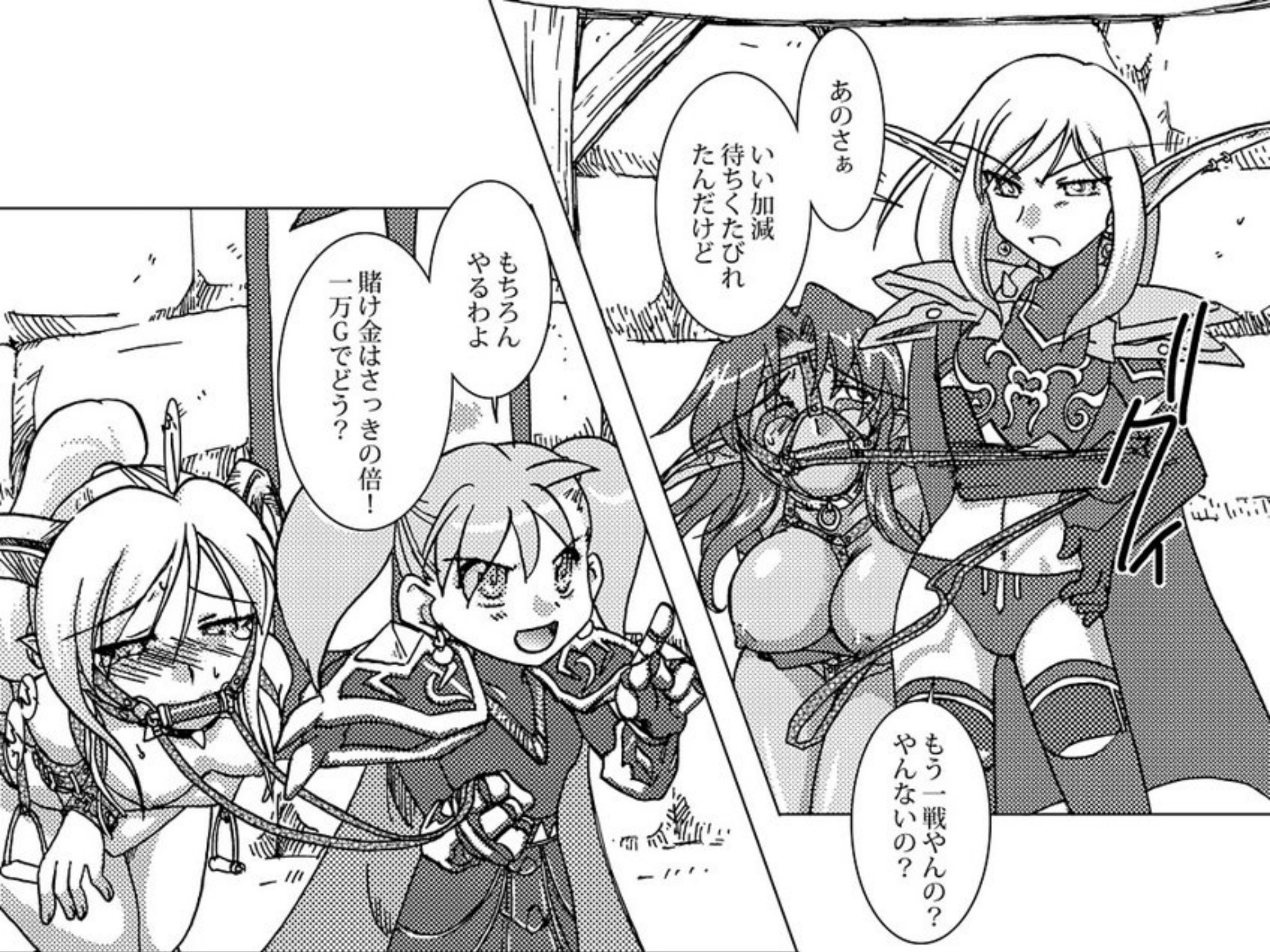
恐れよりも  
期待が勝るような

もっと  
泣き叫べー！

なんておぞましい身体に  
されてしまったのだろう

私





あのさあ

いい加減  
待ちくたびれ  
ただけ

もちろん  
やるわよ

賭け金はさっきの倍！  
一万Gでどう？

もう一戦やんの？  
やんないの？



ふーんだ  
魔法中毒め！

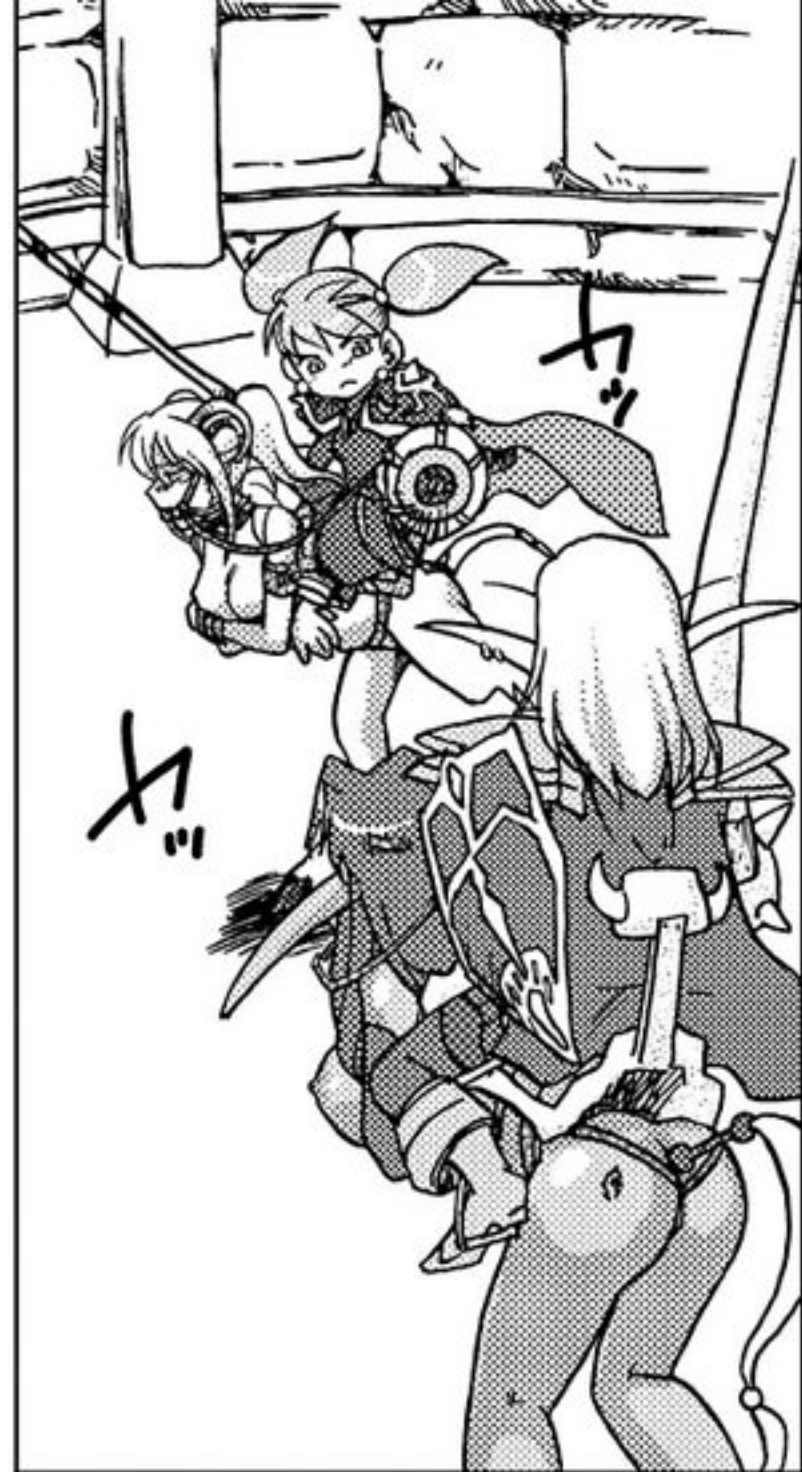
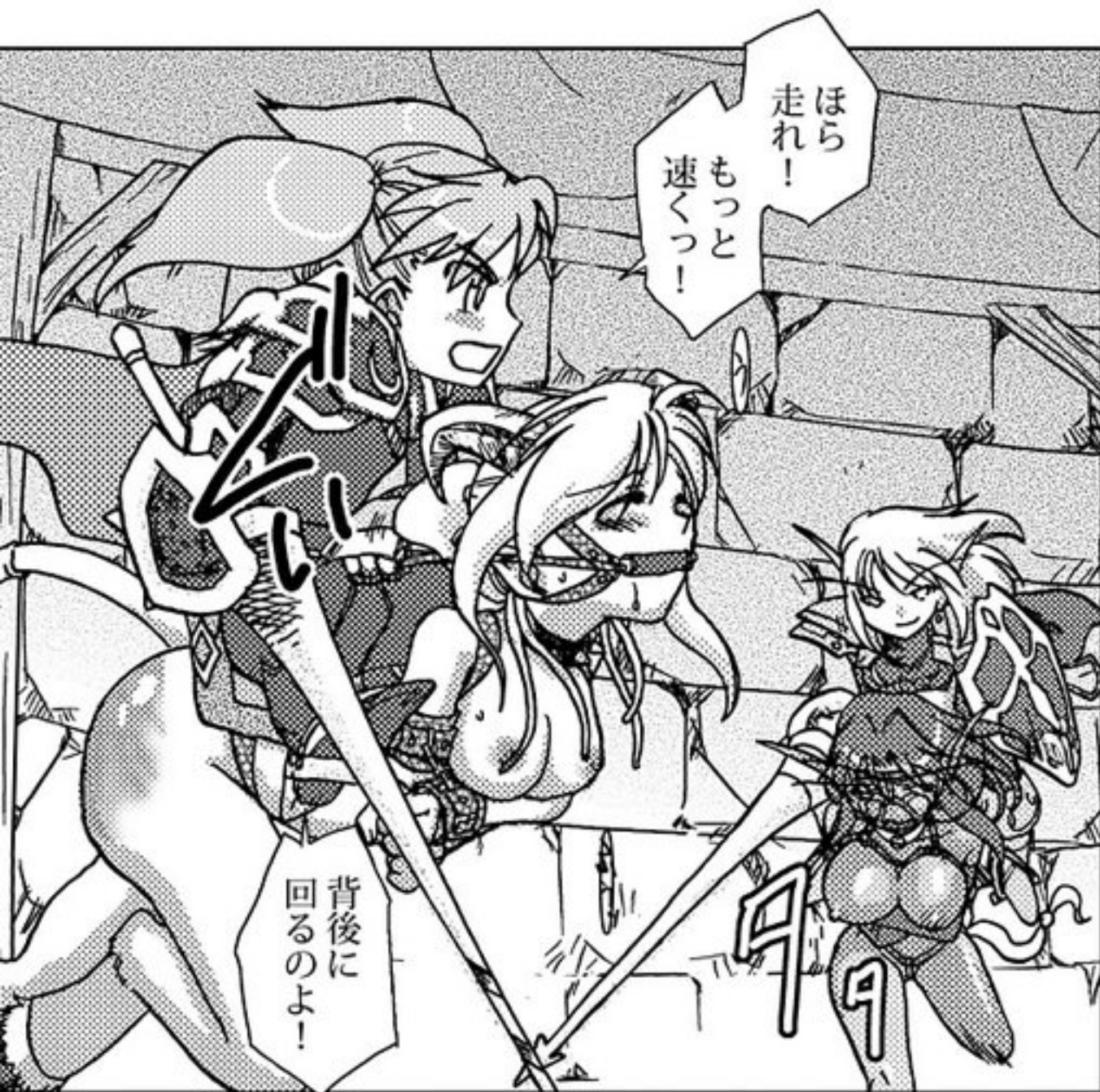
今度こそ  
吠え面かかして  
やるんだから！



はッ！  
一万Gですって  
このチビ！

まだそんな金  
持つてるとは  
思わなかったわ！













そら

落ちろっ!

それとも  
降参かしら!

ほじっ!

う  
どっちも  
ヤダっ!

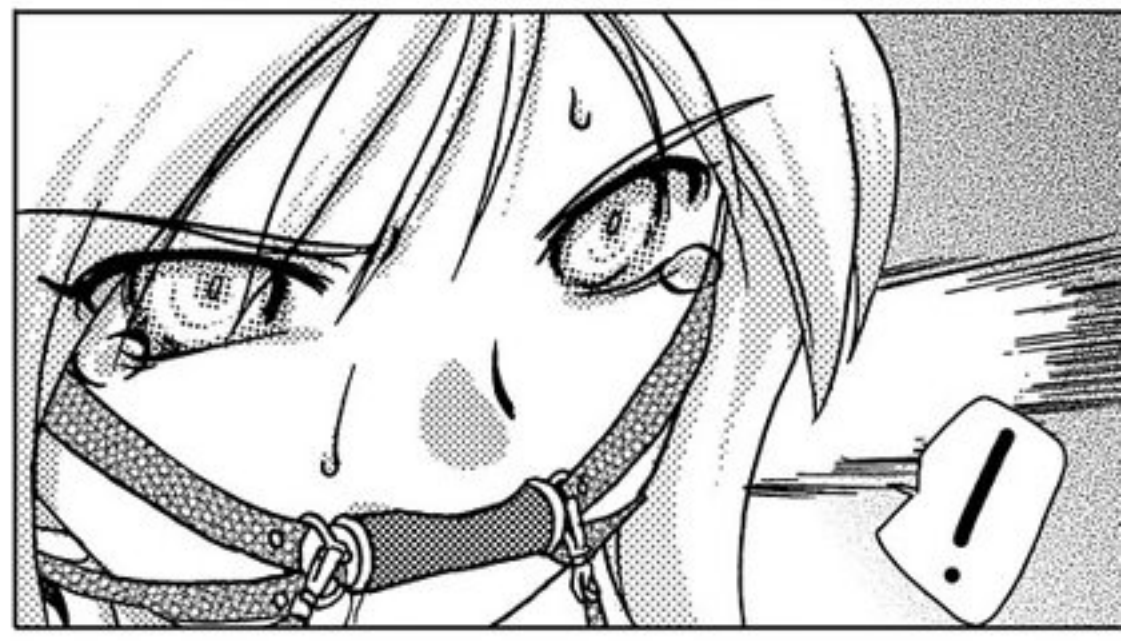


ほじ

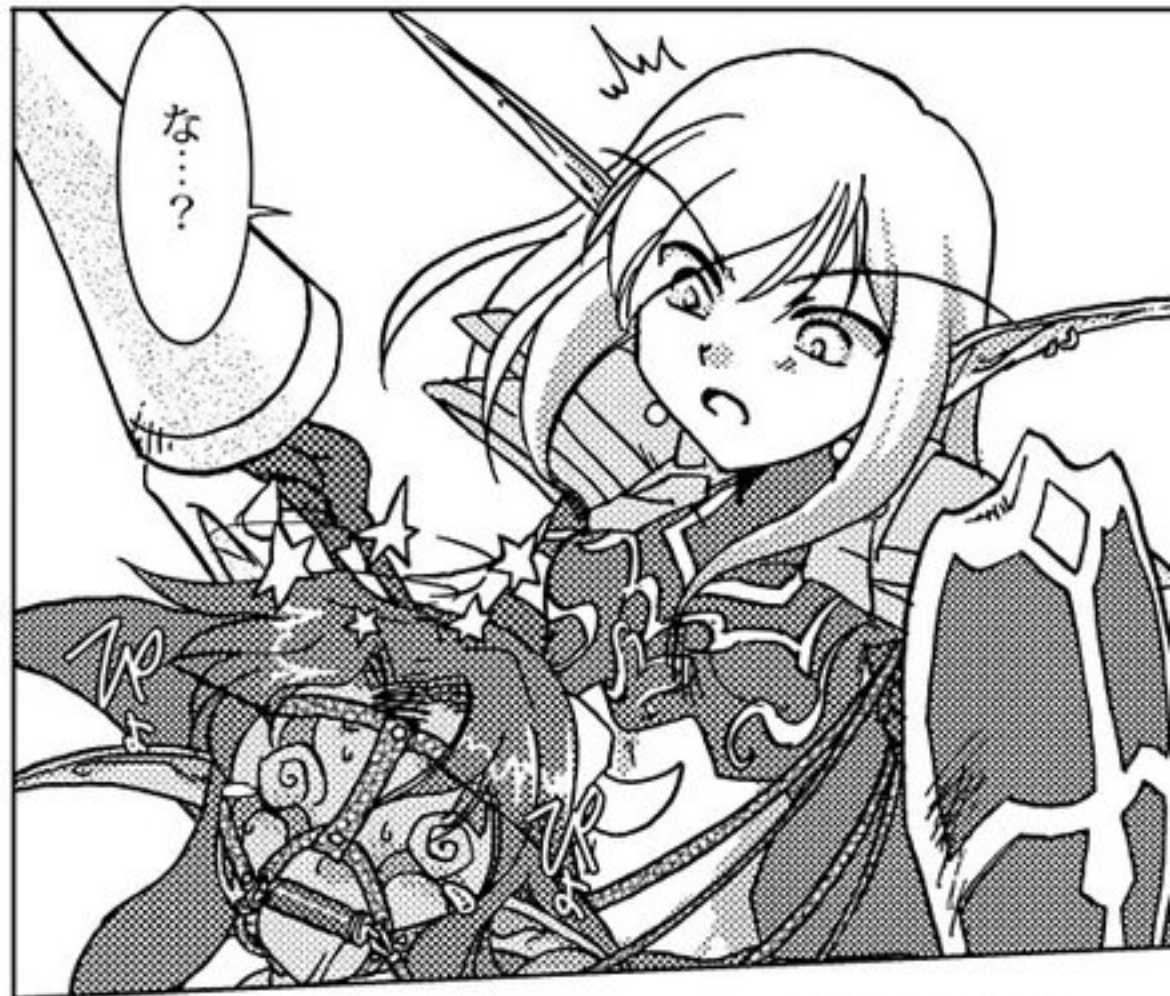


ごめんなさい  
あなたに恨みは  
ないけど

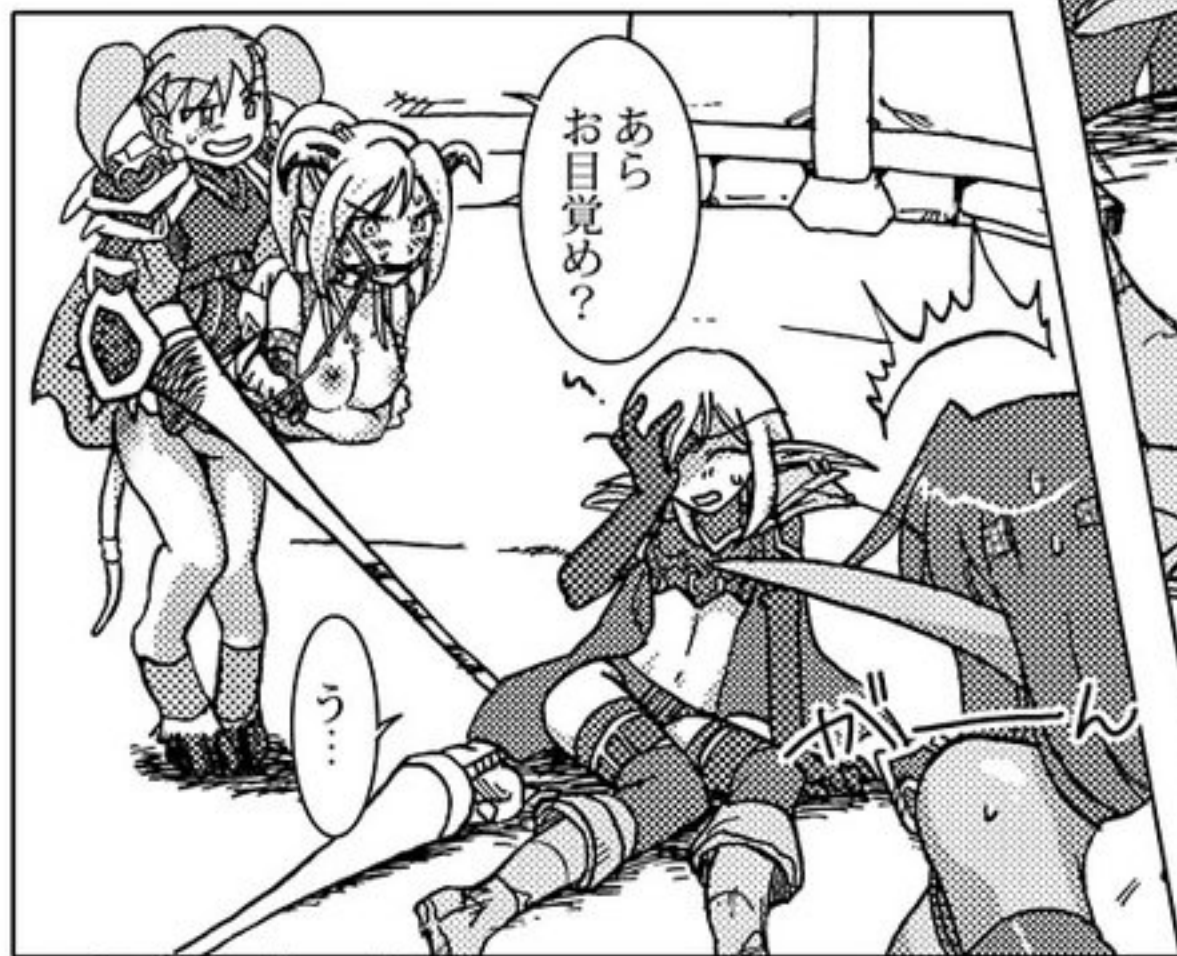
私もおしおきが  
怖いの















尻叩くだけで勝てるなら  
苦労ないわ

ドーピングするわよ  
この際



さてと

まさかお前  
お仕置きを  
期待してんの？



いい  
ウィッチドクターを  
知ってんのだよ



あらー  
これはこれは

ナイトエルフ様じゃ  
ありませんか

良いマウントを  
お持ちですね



確かに難しい  
注文だMON

まあ  
やってみるMON

よろしく  
お願いしますわ  
先生





まずは  
その拡張器を  
抜くMON

はい  
センセ♪

入ったんだから  
抜けるわよ

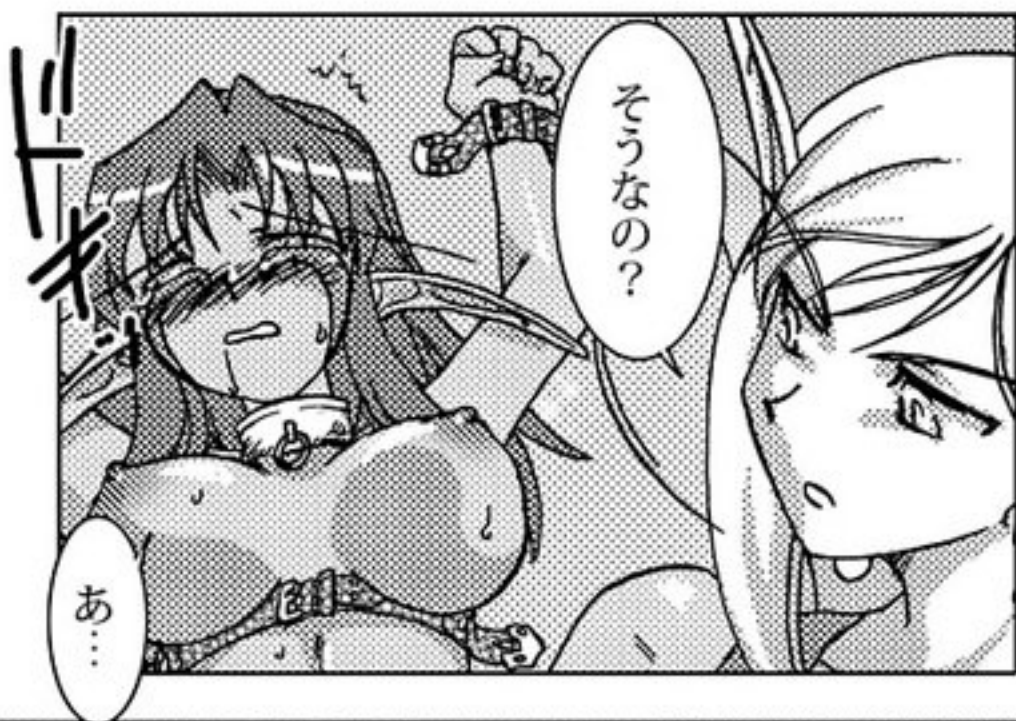
ドクターに  
お任せしなさい

いた...いつ

いつまでも  
頬張っちゃって  
みっともない

ゴワレ...ちやう









ま……

なあに  
ソレ？

先生が考えた  
器具ですよ

拡張が済んでいて  
助かりましたわ



こんな事でも  
感じるのね

調教がうまく  
いってるって  
ことかしら？

そうですね

じゃ コレ  
つけますね



こうやって  
粘膜にフックをかけて  
ベルトを引き締めれば

穴を開いたままで  
固定できますの

や……っ

まあ



お口の方も  
固定しますね

ま……



卑しいお前に  
ぴったりじゃない

だらしない穴の  
奥まで丸見えだわ

サ  
ハ





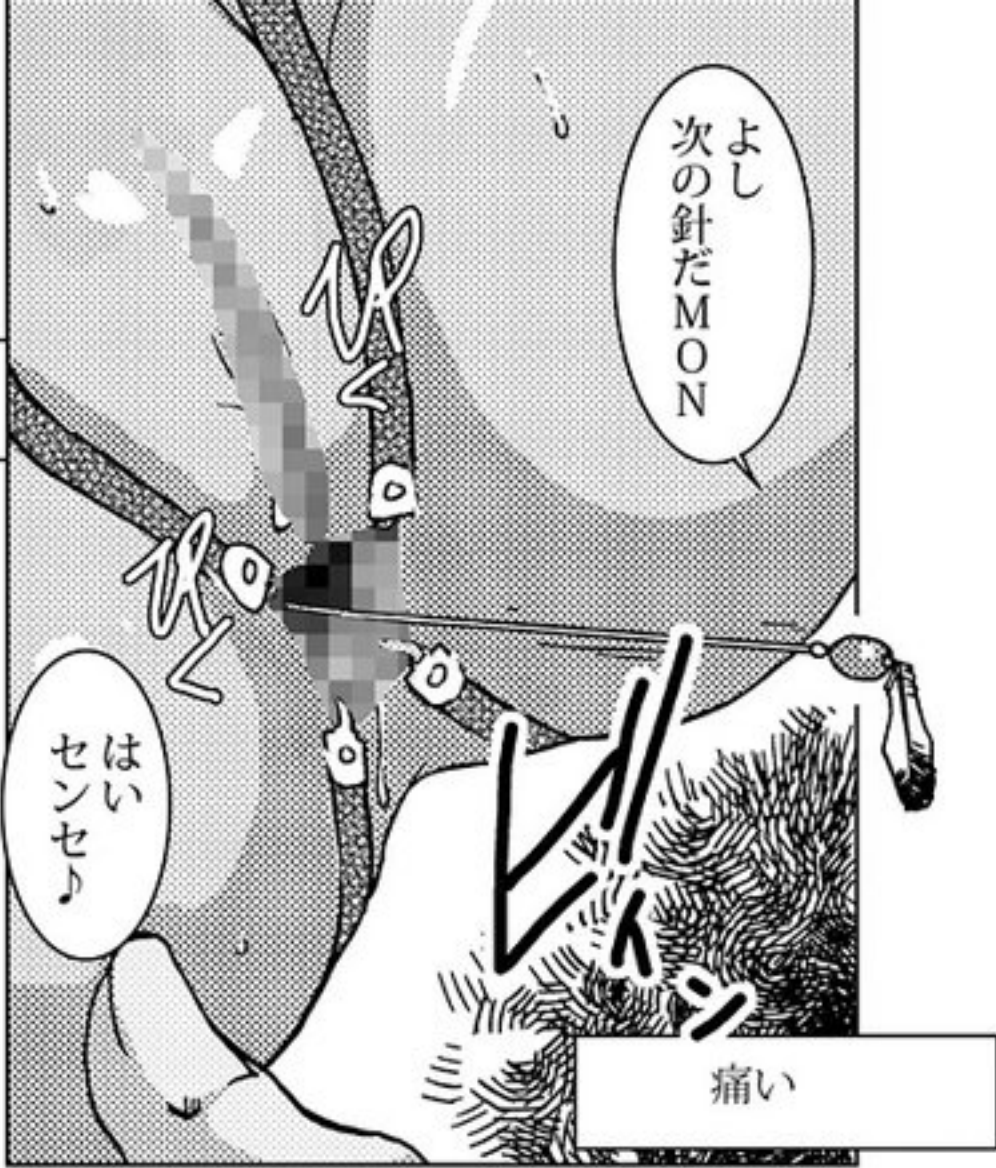




まさか… やめ…

いや

やめて  
お願い



よし  
次の針だMON

はい  
センセ♪

痛い



あ  
あ

痛い!

身体が動かない  
息が…吸えない…



喉の奥から  
脳に向かって  
打つMON

角度が  
難しいMON

痛い

いや

痛い!



よし  
次は直腸…

次  
直腸だMON

全身…が  
指の…先まで痛い

お願い  
やめて

次は…喉  
もっと深く  
打つMON

もう…





あ

もう

やめて

は

か

——して

殺して

誰か

私を

あ  
あ!

私を殺して——

——違う

まあ  
驚いた

この子ったら  
すっかり  
濡らしちゃって

そんな  
はず

ない

あ



濡れた…感触  
熱い身体…

嘘じゃ…ない…

私  
感じて…るんだ

この  
気の遠くなりそうな  
痛みで…!

いやあ  
見事な  
調教だMON

まあ  
大変でしたから

どんどん  
…狂っていく

私じゃ  
なくなっていく…

私じゃ —





姫のマウントは  
通常の数倍の  
生命力を

この針は  
肉体に眠る力を  
開放する鍵だMON

一気に燃やす  
身体になったMON



きっと  
私はもう——

ご注文通り  
性感を倍増する  
針も打ったMON



完璧ね  
先生

あー

あー

あー

あー

あー





ほら!

いつまで  
浸ってんの  
行くわよ!



では  
またお願い  
しますわ

先生

任せるMON



も…申し訳ありません  
ご主人様

生き…てる



まだ  
身体の芯が  
疼いてる



やっと終わったんだ



















こんな状況で  
まだ欲しいとか

「高貴な」ナイトエルフも  
本性はこんなもんかね

逆らえない

今にも  
流されそう

どうしても  
欲しいってんなら

アタシはいいモノ  
持ってるよオ

ぬい  
ゆ

本当なのね

ほら  
わかるだろ?

薬と針が

私の神経を  
狂わせてる

こいつを  
突っ込んで  
欲しいんじゃない?

あ……

すごく

欲しい

ま  
アタシは  
そーゆーの  
嫌いじゃないけど?

ま

あ

あ!

どうなんだい  
家畜ちゃん

あ

なん…だっけ…



言わなきゃ

『いいこと？  
お前は家畜  
ただの家畜よ』

私は  
家畜なんだ

『よく覚えて  
おきなさい』

ははッ

お…おネガイしまス  
ワタシの…おシリに

あなたの  
フトいのを…

フトいのを  
クダサイ…っ

普通もうちよつと  
躊躇するもんじゃ  
ないかねエ

構わないけどサ

だから

素直に  
おねだりしなきゃ









感じる...

いっばい...  
かきマワして  
クダさあい...っ

ん  
オレも  
がんばるぞ

私が  
壊れていくのを

...もう  
だめ



何を  
褒めろって？

わっ



あきれた  
超ノリノリ  
じゃない

調教が行き届いてる  
って言うてよ

ん

褒めて  
欲しいなあ



欲求不満の  
ご主人様に  
飼われてると

家畜も  
大変よねー

ん  
ん  
違...っ





シたくないってのが  
本当かどうか

確かめてみたく  
なっただけよ



まあ  
そう硬いこと  
言わないでさ

え？

え？

なに？

なんで？



ちよ

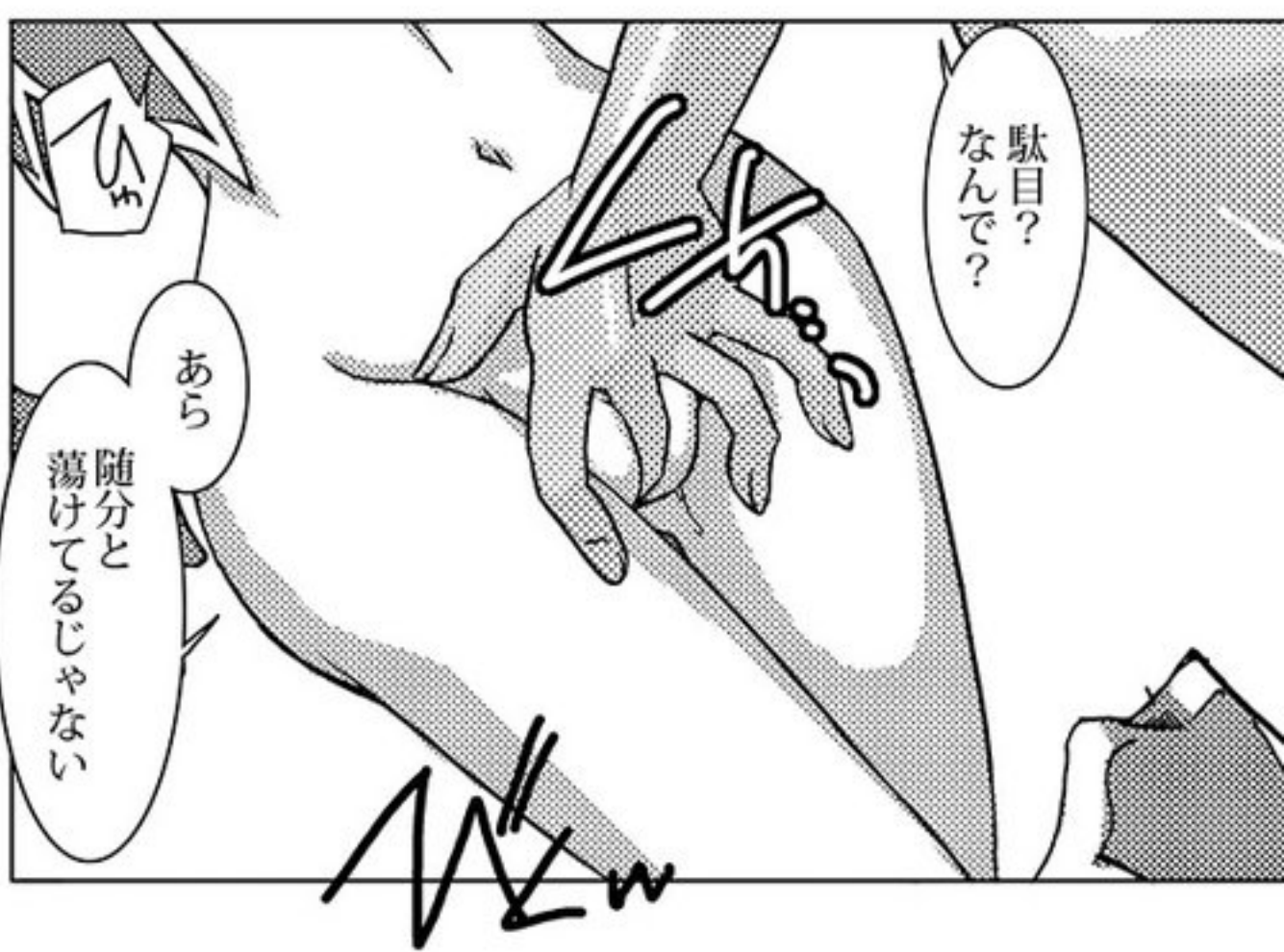
まっ…  
だめって…



ウソつき

えっと、うん

ごめんなさい。



駄目？  
なんで？

あら

随分と  
蕩けてるじゃない





そんな  
正直じゃない  
姫にも

大サービス！

レディの  
たしなみ…とか？  
ん…

……  
準備いいのね

さすがは  
姐さんだわ

おっぱい

イ  
ア



ふー  
これは

ちっこい姫にも  
合うように作った  
特注品よ

そりゃ  
どうも…って

姐さんのメニューには  
最初っから私が  
入ってたわけね

き

気のせいよ  
気のせい

▽星かー

「たまたま」持ってた  
だけだっつてば！









家畜ちゃんが見てるわよ

ほろほろ

あ...あ...

ゴッゴッ...  
わき...

なんて  
すてきな時間



ね  
もっと鳴いてよ  
姫

ん...

や...

だ...って  
はず...かしつ...

快樂で  
目が眩みそう

部屋じゅうが  
嬌声で染められていく

あうん





もっと欲しい

っふ...  
そろそろ  
仕上げといくよオ  
中がいいんだろ?

もっと  
もっと——!



ウレし...デスクう  
なかニ...オクに  
いつぱい...っ!

は...

このまま



も...  
い



ずっと

狂っていたい



イ...き...す





このまま

融け合ってしまったらいいのに——



それがいいかでしたか 姫?

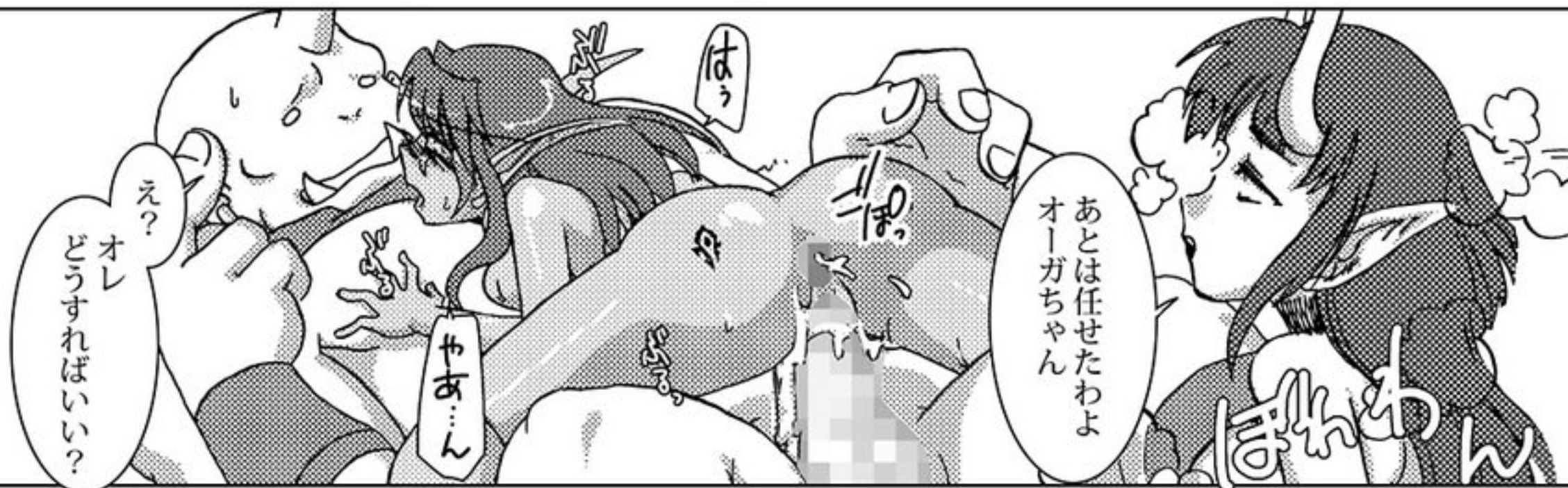
背中が痛いわ

私の部屋に招待したいんだけどいいかしら?

私に火をつけたこと後悔させてあげる

言ったわね







かならず  
あのノームを倒します

だから——



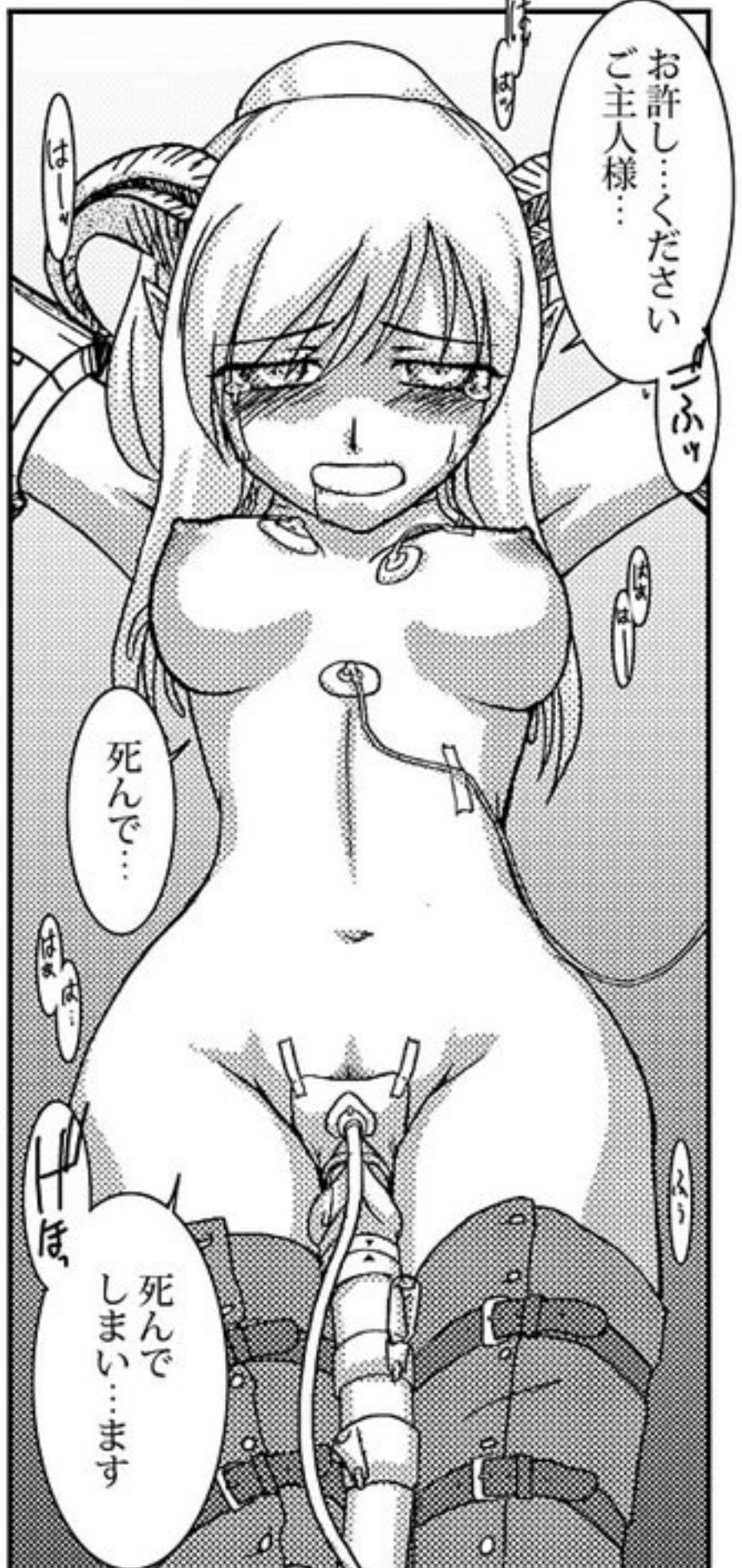
お大事に  
...で  
これ以上の改造は  
命に関わりますが  
どうしますか?

Ahchoooo!!



喋れんのなら  
まだまだ  
大丈夫ね

もっとギリギリまで  
やってちょうだい



お許し...ください  
ご主人様...

死んで...

死んで  
しまい...ます



強者は勝利に  
奢らないもの!

次は  
全勝よっ!



最後までお読みいただき  
ありがとうございました。

最近私用でWoWに入れてないので  
ちょっと色々ずれてるかもですが  
元々ずれてるので問題ないかも！

閑話休題。

WoW本はひとまず  
今回でおしまいの予定です。  
次は何を描こうかな～と  
思案中のこのごろ。  
今年の夏アニメが  
結構いい感じの予感なので  
珍しくアニメ本になったりするかも？

何を描くにしても  
もっとうまくなりたいなあ。  
あと遅筆もなんとか…がくり。

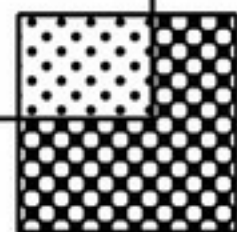
ともあれそれでは、また次の本で。

2010. 08. 15

ぷりんはうす

なかいかな

# あとかきの 的な なにか







## HYHH! ~season 2

発行：ぷりんはうす

発行日：2010年8月15日

印刷所：共信印刷様

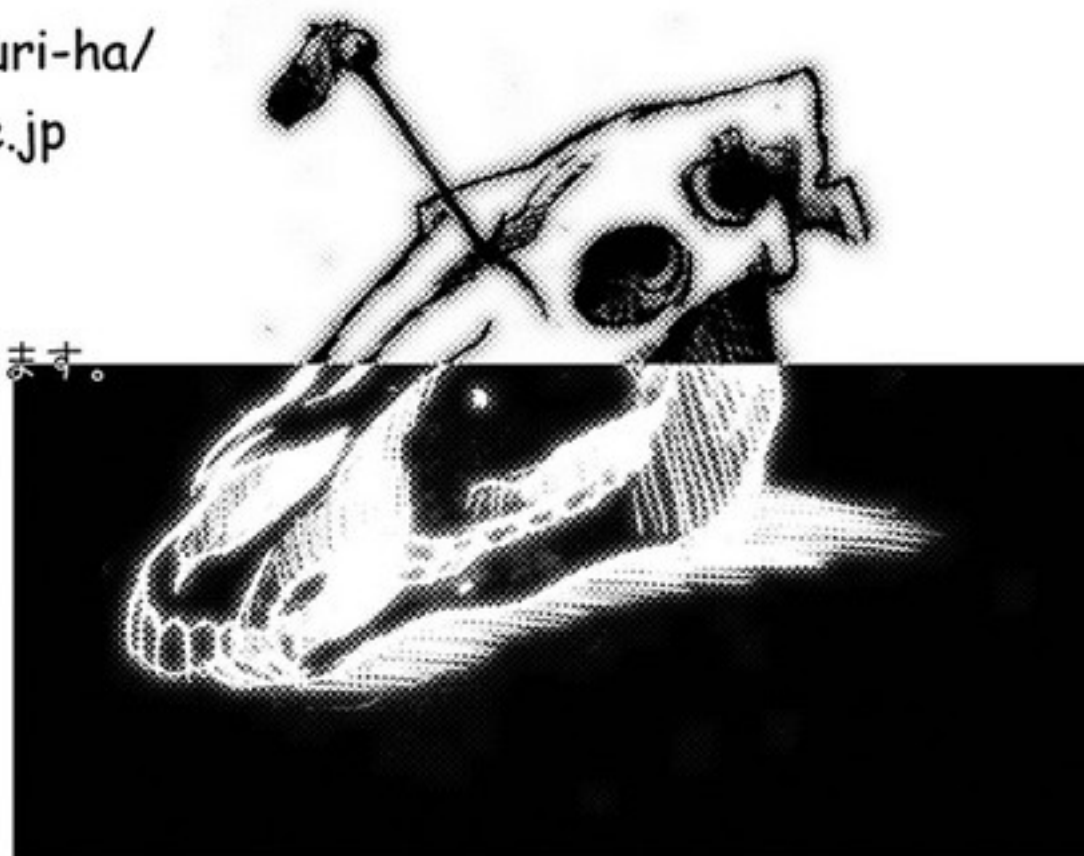
URL：<http://www.h5.dion.ne.jp/~puri-ha/>

E-mail：[purin-hausu@k5.dion.ne.jp](mailto:purin-hausu@k5.dion.ne.jp)

無断転載・ファイル共有禁止

成人向けの内容であり

未成年者の購入・閲覧等はお断りしております。









HYHH! ~season 2

presented by  
PURIN-HAUSU

BAH BAH BAH BAH!

